

古代人の知恵とロマンを訪ねて

古墳時代の墳墓の散策

いしかわの古墳めぐり



雨の宮古墳群(2号墳)



河田山古墳群



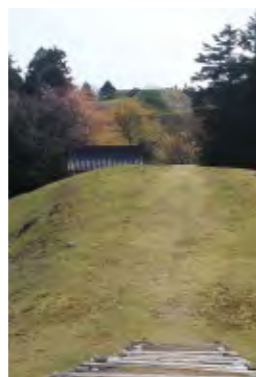
散田金谷古墳



びわ塚古墳



院内勅使塚古墳



雨の宮古墳群



須曾蝦夷穴古墳



和田山古墳群



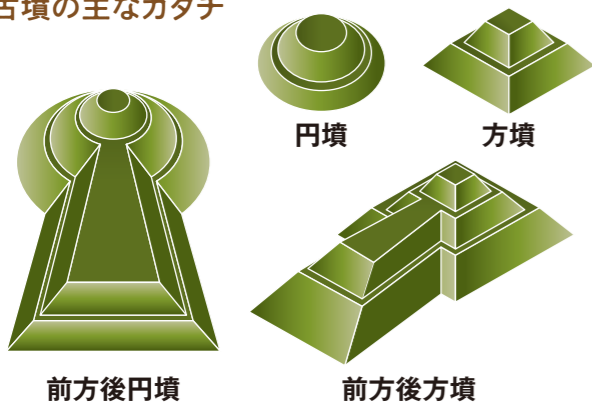
おまる塚



秋常山古墳群

古墳めぐり

古墳の主なカタチ



西暦250年〜550年ごろ
古墳時代の遺構、墳墓を訪ねる

大阪府堺市にある「百舌鳥・古市古墳群」が、2019年7月、ユネスコの世界遺産に登録されました。これは、墳丘長486mの世界最大級の墳墓である仁徳天皇陵古墳をはじめ、44基が含まれています。現在日本には、これらを含め約16万基の墳墓が点在しているそうです。その時代の権力者を祭ったと思われる古墳時代につくられた墳墓は大きく土で盛り上げ、カタチは主に、前方後円墳、前方後方墳、円墳、方墳の4つに分けられます。石川県内でもかなりの数が見つかっており、発掘後に歴史公園として整備された古墳も多数点在。古代に思いを馳せて古墳巡りを楽しんでみてはいかがでしょうか。

古墳の立地は山の中だったり、人里離れた箇所などにあること、また案内看板が少ないなど、現地にたどり着くまでに大変なこともあるかもしれません。近くまでアクセスしたら、地元の人に尋ねるのもいいでしょう。整備されて自然散策が楽しめる公園も多く、お出かけにぴったりです。

埴輪や副葬品などが出土した重要な古墳

〔秋常山古墳群〕 国指定史跡

能美古墳群のひとつで
北陸最大級といわれる墳墓

能美市の平野部にある5つの独立丘陵上に造られた能美古墳群。各丘陵名をとって寺井山古墳群、和田山古墳群、末寺山古墳群、秋常山古墳群、西山古墳群と名付けられています。

昭和59年(1984)に発見された秋常山古墳群は、丘陵地に2つの大きな墳墓が並びます。平成4年(1992)から発掘調査が始まり、現在の姿になったのは平成23年(2011)です。前方後円墳の1号墳は最大高さ約20m、全長約140mもの巨大さ。石川県最大級の大きさといわれ、4世紀後半に築かれたそう。2号墳は東西約32.5m、南北約27m、最大高さ約4.8mの方墳で5世紀中頃だそうです。1・2号墳とも古墳の上まで登ることができ、周辺の農村風景を眺めることができます。2号墳では、調査した様子を再現した埋葬施設の見学やパネル展示をする部屋を公開しています。また、2020年秋に開館予定の能美市立博物館でも詳しく紹介。古墳を訪れる前に、博物館で予習をしていくのもいいですね。



①

①自然にあった丘陵を利用して造られた1号墳。手取川から運んだ約40万個の河原石を斜面に積み重ねた葺石の技法がみられる ②1号墳から埴輪のモニュメントが並ぶ2号墳を眺める。その奥には能美平野ののどかな農村風景が見渡せる



②

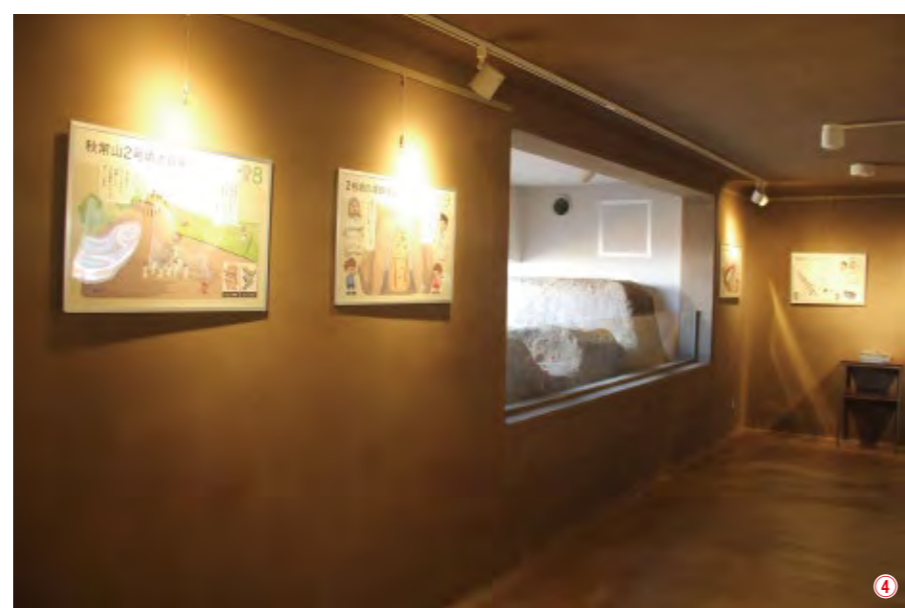


③



⑥

⑥2号墳の上には、新しく制作された埴輪をモニュメントとして並べている。古墳時代の雰囲気が伝わってくる



④

③四角い形の方墳、2号墳。墳丘からは鉄製の工具類や副葬品などがみつかった ④2号墳の中に小さな展示室があり、秋常山古墳についてパネルで紹介 ⑤展示室の中には土の中から発掘調査した埋葬施設をそのまま展示している



⑤

秋常山古墳群
●あきつねやまこふんぐん

0761-58-6103
(能美市立歴史民俗資料館)
能美市秋常町ヨ2-2
20台



古墳めぐり



①河田山古墳公園では移築復元された12号墳を展示している。周辺にはほかに古墳時代前期の1号墳や飛鳥時代の9号墳も保存されている ②河田山古墳群史跡資料館内にある石室の展示。凝灰岩で造られた石室をどの角度からも観察できる ③発掘調査で出土した首飾りや鉄製の武器、武具など数々の遺物を展示している



小松市

古墳について詳しく知るなら河田山

〔河田山古墳群〕

河田山古墳群
●こうだやまこふんぐん

☎ 0761-47-4533
(河田山古墳群史跡資料館)
📍 小松市国府台3-64
🅐 4台(ほか近隣にもあり)

移築復元された方墳や石室 詳しい内容とともに間近で見学

小松市の東方、国府台に位置し、かつて河田山と呼ばれていた丘陵地の団地造成に伴い発掘調査された古墳群。古墳時代の4世紀〜7世紀にかけてつくられ古墳群であり、前方後円墳2基、前方後方墳2基、方墳や、円墳など60基以上から形成されています。整備された古墳公園には方墳の12号墳の石室を移築しており、天井がアーチ型になった横穴式石室と復元された墳丘を見ることが出来ます。公園の展望台からは白山連峰や梯川などの眺望も見事。

また、隣接して河田山古墳群史跡資料館(10時〜16時、入館無料、水曜休、冬期休館)があり、館内中央には、飛鳥時代につくられたという河田山33号墳横穴式石室を発見当時のまま再現展示。貴重な古墳の中をのぞき見ることが出来ます。ほかにパネル展示や出土品など、古墳についてとても分かりやすく解説しているので、ぜひ入館を。



古墳めぐり



①手取川左岸に位置する和田山古墳群は加賀の豪族が葬られたと伝わる。写真は円墳の4号墳。小高い丘陵地にはぐるりと一周できる散策路が設けられている。5号墳は前方後円墳で出土品も数多く発掘されている ②2020年秋に開館予定の博物館。その後が和田山 ③館内には能美古墳群の須恵器や鉄器、アクセサリーなどの出土品が展示される



能美市

最初の発掘調査が行われた古墳

〔和田山古墳群〕 国指定史跡

林の中に古墳が点在する 散策にちょうどいい古墳公園

能美市は古墳の宝庫で5つの古墳群が点在し、約40基の古墳があります。そのひとつ和田山古墳群の1号墳は高さ約5m、径約25mで、昭和26年(1951)から調査が行われた最初の発掘調査の古墳です。和田山古墳群は3世紀後半〜6世紀後半にかけてつくられた古墳群とみられ、小高い丘に前方後円墳1基と円墳13基、方墳2基が並んで造られています。古墳群の中には弥生時代の高床式の倉庫跡なども見つかっているほか、出土品には文字を刻んだ須恵器も発見されています。

また、隣り合って末寺山古墳群があり、和田山と合わせると全24基に。帯は史跡公園として整備され、それらを巡る散策路が設けられています。2020年秋には、史跡公園のすぐそばに能美市立博物館がオープン。能美古墳群の出土品や詳しい内容をはじめ、能美の自然や歴史などを展示紹介します。

和田山古墳群
●わだやまこふんぐん

☎ 0761-58-6103
(能美市立歴史民俗資料館)
📍 能美市和田町
🅐 50台(秋にオープンする能美市立博物館に併設)

田園風景を見渡す眺望自慢の墳墓



④

④雨の宮古墳群は平成4年(1992)から5年をかけて発掘調査が行われた。写真は2号墳で、1号墳と北東に向き合って立地。頂上に登れば周囲の古墳も見渡せる
⑤2号墳の周辺には5・6・7号墳が並ぶ(写真は手前が5号墳、奥が7号墳) ⑥2号墳の山上には見える景色の説明板が用意されている ⑦駐車場から遊歩道(健康のみち史跡コース)を歩きながら墳墓へ。途中には、遊具を備えたグリーン広場やバーベキュー場もある



①

①昭和57年(1982)、国史跡に指定された雨の宮古墳群の多くが復元されている。写真は1号墳。斜面を石で覆う葺石がみられる ②1号墳の上からは周辺の山並みと点在する集落、のどかな田園風景が見渡せる ③1号墳の墳頭に立つ三角点。国土地理院のもので、雨宮山、標高187.95mと記されている



⑤



③



②

〔雨の宮古墳群〕国指定史跡

眉丈山山頂に墳墓が点在
能登を治めた権力者が眠る丘

能登半島中央部、中能登町に位置する古墳群。4世紀中頃～5世紀初めにかけて、標高188mの眉丈山山頂に築かれた能登の豪族の墓だそう。石川県で発見されている墳墓の中でも比較的大型の1号墳と2号墳を中心に大小の墳墓が多数見つかったり、合わせて36基が並びます。最も高い場所には位置する1号墳は、墳丘の長さが約64mの前方後方墳。1号墳と対峙するように並ぶ2号墳は、墳丘の長さが約65mの前方後円墳です。埋葬されていた人物の特定はできていませんが、能登全体を支配していた権力者であったと推測されています。周辺は古墳公園として整備されており、のどかな丘陵地を歩いて楽しめます。

墳墓の上には登ることができ、周囲の山々や農村風景を眺めながら、太古に思いをめぐらせるのもいいですね。駐車場横には資料館、雨の宮能登王墓の館(9時～17時、入館200円、火曜休、冬期休館)もあり、ここで予習してから散策するとより古代に思いを馳せることができます。



⑥



⑦

雨の宮古墳群
●あめのみやこふんぐん

☎ 0767-72-2202 (雨の宮能登王墓の館)
📍 鹿島郡中能登町西馬場7部12
🅇 30台(雨の宮能登王墓の館の前にあり)



①昭和47年(1972)、石川県史跡に指定された院内勅使塚古墳 ②巨大な石が組み合わされたこの石室は江戸時代以前から開いていたため、副葬品はなかったようですが、須恵器などから年代が特定された ③かなり傷みが激しかった古墳だったが、昭和60年から七尾市が修復を手がけ、今は当時の姿に復元された



平坦な地形に造られた珍しい墳墓
〔院内勅使塚古墳〕

院内勅使塚古墳
●いんないちよくしづかこふん

0767-53-8437
(七尾市教育委員会)
七尾市下町成部21-2
3台

田園地帯の集落内に位置する横穴式石室をもつ方墳

古墳といえば、ほぼ丘陵地や小高い丘などに造られたものですが、院内勅使塚古墳は平坦な地形に位置。JR七尾線徳田駅から約130m、田園地帯が広がる集落内の畑の横、道路ぎわにあり、車で走っても見やすく探しやすい古墳です。

この場所には、7世紀前半(古墳時代末期)につくられた横穴式石室の方墳1基のみがあります。二段築成型で、一辺約23m、高さ約3・7mあり、横穴式の石室の内部をのぞき見ることができます。この石室の天井を形成する石は巨大で、これを組んだ古代人の知恵に脱帽です。かつては、墳裾に沿って幅約6m、深さ1・8mの濠が巡らされていたようですが、今はほんの一部が復原されています。埋葬されたのは、この地域の豪族能登臣に関係する人物とみられています。かつてこのあたりは能登の中心として栄えたところで、古墳があちこちに点在しているそうです。



①昭和57年(1982)、国史跡に指定された散田金谷古墳。桜の里・古墳公園内、古墳の湯のそばに駐車場があり、そこから徒歩1分、散田天神社前を右折してすぐにある ②石室の内部。天井の高さは約2.8m、奥壁の幅は約2.7m。中に入る際は事前に宝達志水町文化財室に連絡 ③春の桜など季節ごとに彩り美しい桜の里・古墳公園



明治中期に発掘され昭和後期に復元
〔散田金谷古墳〕国指定史跡

子浦川と田園風景を眺める
高台にある古墳公園

宝達志水町を流れる子浦川を望む丘陵地、桜の里・古墳公園は能登有数の桜の名所として知られています。この一帯には散田金谷古墳と石坂鍋山古墳群とがあり、整備された国指定史跡の散田金谷古墳を見ることが出来ます。この古墳は6世紀後半につくられたと考えられ、直径約21mの円墳で高さは約3・5m。中には長さ約10mの横穴式石室があります。石室と石棺は明治36年(1903)に地元民らによって発見され、発掘調査が行われました。須恵器の杯や鉄刀、耳環なども出土し、その一部は東京国立博物館などに所蔵されています。

古墳の内部は金網の外から覗くことはできませんが、中に入るときは文化財室に予約すれば開けてくれるそうです。すぐそばには、日帰り専用の温泉施設「古墳の湯」があり、古墳見学、公園散策、温泉入浴と1日たっぷり楽しめそうです。

散田金谷古墳
●さんでんかなやこふん

0767-28-5180
(宝達志水町教育委員会生涯学習課文化財室)
羽咋郡宝達志水町散田
50台(桜の里・古墳公園)



平坦な畑の中にこんもりと盛り上がるおまる塚古墳

金沢にもいくつかの古墳があります。長坂二子塚古墳や御所八塚山古墳、小坂古墳群などが確認されているようですが、畑だつたり竹藪に囲まれるなど未整備で、見学は難しいものが多いようです。

今回取材したのは、田園に囲まれた平野部で、ここに2つの塚があったことから地名が二塚になったというエリア。あたりにはまだいくつかの古墳があったようですが、発掘整備されたのがこの2つで、平成10年に金沢市指定史跡になりました。

おまる塚古墳は、金沢市北塚町の宇佐神社近く、野原の中にある5世紀後半〜6世紀前半の円墳です。南北23m、東西19m、高さ4.5mとこんもりした丘になっています。また、びわ塚古墳は、金沢市南塚町にある4〜5世紀の円墳で、南北20m、東西16m、高さは1.5mです。高さも低く気づきにくいですが、大きなクロマツの木2本が目印です。どちらも石室などは見あたりませんが、当時の権力者の墓と推測されています。

金沢の田畑の中にある古墳

金沢にもあった！古墳時代の権力者の墓
「おまる塚古墳」「びわ塚古墳」



町外れの平地の中、一見、古墳とは分らないびわ塚古墳

●済生会金沢病院
いしかわ総合スポーツセンター
おまる塚古墳
●おまるつかこふん
☎076-269-2451
(金沢市埋蔵文化財センター)
📍金沢市北塚町152 📞なし

●びわ塚古墳
●びわつかこふん
☎076-269-2451
(金沢市埋蔵文化財センター)
📍金沢市南塚町118 📞なし



①1つの墳墓に横穴が2つあるという珍しい須曾蝦夷穴古墳。雄穴と雌穴と名付けられており、2つの穴は中ではつながっていません。昭和56年(1981)、国指定史跡に ②石室の石材は、能登島で産出する安山岩質板石。墳墓の入り口は古くから開いていたため、出土品は少なかつたそうだ ③古墳の眼前には美しい七尾南湾の眺めが広がる



七尾湾を見下ろす風光明媚な墳墓
「須曾蝦夷穴古墳」 国指定史跡

「須曾蝦夷穴古墳」 国指定史跡

海岸沿いの道路から丘陵地に向かい駐車場に停めて約160m、七尾湾を見下ろす風光明媚な丘に墳墓があります。標高約80mに立つ墳墓は、二辺が約18mの方墳が1つで、海に向かって横穴式石室が2つ並んで築かれています。横幅が広い奥室やアーチを描く天井から推測されることは、朝鮮半島の高句麗式墳墓に似ているとのこと。

また、古墳からの出土品の一部を模造復原展示する七尾市の「のと里山里海ミュージアム」では、七尾エリアの歴史や文化、祭りなどを学べるので立ち寄ってみるのもいいでしょう。

海に向かった1つの墳墓に石室の穴が2つ並ぶ

能登半島に抱かれるようにして、七尾湾にぽっかり浮かぶ能登島。その周囲約72kmの小島にあり古墳。国指定史跡であり、古墳時代末期に築かれたものと推測され、有力者の墓とみられています。周辺にはほかの古墳が見られていないので、単体で造られたと考えられます。

須曾蝦夷穴古墳
●すそぞあなこふん

ツインブリッジのと
のしま水族館
ガラス美術館
能登島大橋

☎0767-53-8437
(七尾市教育委員会)
📍七尾市能登島須曾町夕部21-5
📞30台